

社内から実践する社会志向

～ カルビーのダイバーシティ活動 ～

カルビーは、2010年4月に部門やグループを超えたメンバー15名で構成された「ダイバーシティ委員会」を設置しました。

従業員の約半数にのぼる「女性」の活躍推進に着目し、さまざまな活動を通して社内の意識改革を行っていかうというのがそのねらいでした。

カルビーダイバーシティ宣言

掘りだそう、多様性。育てよう、私と**Calbee**。

互いの価値観を認めあい、最大限に活かしあう。

多様性こそ**Calbee**成長のチカラ。

「ライフ」も「ワーク」もやめられない、とまらない。

カルビーグループダイバーシティのビジョン

どの職域でも、いろんな人が「イキイキ」と働いている

育児・介護などの制約がある人も活躍できる制度・風土

コミュニケーションが活発

一人ひとりに自信とやる気とチャレンジ精神

ライフもワークも充実

ワクワクするやりがいのある毎日!

一人ひとりの成長 ⇒ カルビーの成長

カルビーが目指す「ダイバーシティが進んだ姿」(ビジョン)とは、『どの職域でも、いろんな人が「イキイキ」と働いており、一人ひとりが成長することで、カルビーも成長している状態』です。「女性の活躍推進」というのは、その夢を目指すための通過点の1つであり、グループ女性管理職比率 40%以上を中長期ビジョンとして掲げています。

ダイバーシティ活動推進ロゴマークには、どんな小さな場面でも、私たち全員が自ら、「ハイッ！」と手を挙げられるようになれば多様性は加速する、という思いが込められています。2011年には、全国から約400名(男:女=4:6)の従業員が集まったのフォーラムや、各地でミニイベントが延べ27回開催されました。



■イベント例

「育児勤務者交流会」(下妻工場) …悩みや不安についての話し合い

「楽しくイキイキと働くための時間づくり」(中四国支店) …営業部門女性体験談

「グローバルダイバーシティMT」(本社) …外国籍従業員との異文化交流

女性の社会進出とその活躍の可能性を広げるチャレンジに関心が寄せられています。